

風土記の丘の花だより²⁶⁰

今、そしてこれから見られる植物(2024年11月9日)

急に涼しくなりました。やっと秋になったような気がします。でも、また暖かくなるのでしょうか。今年の天気はよくわかりませんね。園内を歩いていると黄色いツワブキばかりが目につきますが、他にも素敵な花や実がありますよ。



NHKの大河ドラマ「光る君へ」で紫式部が脚光を浴びていますが、植物のムラサキシキブは今、きれいな実をつけています。とてもきれいな紫色の実なので、この名前が付けられましたが、では、紫式部が活躍した時代以前は、この木はなんとよばれていたのでしょうか。そんなことをふと思ってしまいます。古い図鑑ではクマツヅラ科となっていますが、今はシソ科に含まれています。「どの辺がシソに似ているの？」と思いますが、エライ先生がそう言うのだから、シソ科なのでしょうね。



クコの花が咲いています。紀ノ川の土手などにはたくさん群生していますが、風土記の丘では私はこの一株しか知りません。新池を右に見て、万葉植物園の方に上がっていく道の右側です。花びらはきれいな紫色です。昔から薬草として知られていて、お茶にしたり、お酒に漬けたりしてお飲みになる方もおられるようです。どこか見覚えのある花ですね。ナスの花に似ていませんか？クコはナス科の植物です。もうすぐ真っ赤な実ができて、寂しい冬の野でよく目立ちます。



なんかゴチャゴチャした写真で分かりづらいですね。これはイネ科のチヂミザサという草の花です。イネ科の花は花びらがなく、たくさん集まって咲き、ふつう「穂・ほ」といいますね。その小さな花一つ一つには細長い毛のような、刺のような物が付いていることが多いです。それを「芒・のぎ」と言います。チヂミザサはその芒で人の衣服などに付着して分布を広げます。いわゆる「ひっつき虫」の一つです。名前のササはイネ科の植物によく使われる言葉で、チヂミは葉が縮れて波打っていることによります。



万葉植物園の入り口付近に白い菊の花がたくさん咲いています。リュウノウギクです。毎年この季節になるときれいな花をつけ道行く人を楽しませてくれます。私は香料の「竜脳」の香りをかいだことはありませんが、この葉を揉んで嗅いでみると、何か香りがします。それで「これが竜脳の香りなんかなあ」と勝手に思っています。園芸植物みたいですが、昔から日本に生えている野菊です。 松下